

【作成者】

水本

【基本情報】

<流れ>

1. 1記事目を確認
2. 1記事目のフィードバック
3. 修正
4. 残りの記事を確認
5. 修正
6. 完成

<ペルソナ調査>

ペルソナ 性別:男女

年齢:25歳～50歳

職業:経営者、企業のマーケティング部の人

居住地:なし

顕在ニーズ:動画制作の相場が知りたい

潜在ニーズ:相場を知りできるだけ安い値段でお願いしたい

態度変容:前 どここの会社に依頼しようか考えている

後 相場を知り、どここの会社にするかなんとなく決まった

ペルソナにとって最高のゴール:自社の思い通りの動画制作を行う

CTA:お問い合わせ

<競合分析>

・競合記事&参考記事

1

タイトル)動画制作の費用相場はいくら?企業の動画制作を外注した場合の費用詳細は? | VIDEO SQUARE

URL)<https://crevo.jp/video-square/topic/20201223/>

文字数)7275

構成)

動画制作の依頼先(企業か個人)によって相場が変わる

動画制作会社に外注した場合の費用相場

セミナー・イベント動画制作の相場

アニメーション動画制作の相場

会社紹介動画制作の相場

動画制作の構成と費用相場

企画

撮影

動画編集

動画制作費用を抑えるには

費用レンジが～49万円の動画事例

～49万円の動画で出来ること
ネットショップ制作サービス「stores.jp」広告用動画（Crevo制作実績）
費用レンジが50万円～99万円の動画事例
50万円～99万円の動画で出来ること
中古車検索アプリ「カーセンサー」紹介動画（Crevo制作実績）
費用レンジが100万円～299万円の動画事例
100万円～299万円の動画で出来ること
排水圧送ポンプ「SFA」3Dプロモーション動画（オフィス編）（Crevo制作実績）
費用レンジが300万円以上の動画事例
300万円以上の動画で出来ること
「モスバーガーのネット注文」SNS用プロモーション動画（Crevo制作実績）
動画制作会社の選び方
まずは見積もりをとって自社に合いそうなところを探そう
動画制作・映像制作におすすめのCrevo

2

タイトル)【2021年版】動画制作・映像撮影の費用相場 | 制作費を適正に収めるには? | クリエイター
を探すなら「比較ビズ」

URL) <https://www.biz.ne.jp/matome/2002658/>

文字数) 7576

構成)

動画制作の費用相場

動画制作の費用相場はなぜ幅広い?

制作する動画の依頼内容

制作する動画の尺(長さ)

制作する動画の表現方法

動画の制作工程・各工程ごとの費用相場

問い合わせ・見積もり

企画・シナリオ制作(プリプロダクション)

撮影(プロダクション)

編集(ポストプロダクション)

納品

動画制作の費用相場は依頼先によっても変動する

広告代理店

動画制作会社

外部映像クリエイターと提携する動画制作会社

フリーランス映像クリエイター

その見積書の料金は適正?

動画制作費を適正料金に収めるには?

事前準備をしっかりと整える

目的に応じた動画制作会社を選定する

動画を自社で企画する

自社従業員をキャスティングする

撮影工程を効率化する

フリー素材・自社素材を活用する

まとめ

3

タイトル) 動画制作を依頼した場合の費用相場・料金プランについて解説 | 動画制作・編集ツール
Video BRAIN(ビデオブレイン)

URL) <https://video-b.com/blog/video-production/cost/>

文字数) 5422

構成)

動画制作の費用相場・料金プラン

動画の種類別の費用相場

サービス紹介動画

会社紹介動画

社員紹介動画

マニュアル動画

採用動画

Web広告用動画

イベント告知動画

IR・広報動画

ブランディング動画

動画の工程別の費用相場

企画・構成

進行管理・ディレクション

シナリオ作成

動画撮影

動画編集

ナレーション

動画制作の依頼費用を安くする方法

自社でシナリオを作成する

アニメーション動画を制作する

広告フォーマットに合わせて制作する動画を最適化する

動画編集を「動画編集ツール」で行う

まとめ

・H&Kブログ記事

→ <https://www.handk-inc.co.jp/blog/marketing-automation>

【内容】

動画制作の費用相場とは？フェーズごとの相場や費用を抑えるコツ
を解説

動画を製作するにあたって動画制作会社の利用を考えている方も多いのではないのでしょうか。しかし、動画制作を依頼したいと考えているが、「費用の相場がわからない」「相場がわからず予算が組めない」と悩んでいる担当者さんも少なくないでしょう。

そこで、今回は種類別、工程別、依頼先別の3つの観点から費用相場をそれぞれ紹介します。ぜひ参考にしてください。

<目次>

- 1.動画の制作費用相場
 - 1-1.動画の種類別費用相場
 - 1-1-1.サービス紹介動画
 - 1-1-2.会社紹介動画
 - 1-1-3.社員紹介動画
 - 1-1-4.マニュアル動画
 - 1-1-5.採用動画
 - 1-1-6.Web広告用動画
 - 1-1-7.イベント告知動画
 - 1-1-8.IR・広報動画
 - 1-1-9.ブランディング動画
 - 1-2.動画の工程別費用相場
 - 1-2-1.問い合わせ・見積もり
 - 1-2-2.企画・シナリオ制作
 - 1-2-3.撮影
 - 1-2-4.編集
 - 1-2-5.納品
 - 1-3.動画の依頼先別費用相場
 - 1-3-1.広告代理店
 - 1-3-2.動画制作会社
 - 1-3-3.外部映像クリエイターと提携する動画制作会社
 - 1-3-4.フリーランス映像クリエイター
- 2.動画の制作費用を抑えるためには？
 - 2-1.動画のコンセプトをあらかじめ定める
 - 2-2.まとめて発注をお願いする
- 3.動画制作会社を選ぶ際のポイント
 - 3-1.実績
 - 3-2.費用
 - 3-3.提案力
 - 3-4.進行管理
- 4.まとめ

1.動画の制作費用相場

動画制作の一般的な費用相場は、安いもので約20万～30万、高いものだと100万を超えることもあります。

費用相場は、制作過程や動画の種類、動画の規模、必要となるスタッフ数、機材や諸経費など、あらゆる条件を基に割り出されます。クライアントの作成したい動画の種類や長さ、内容によって条件が変化し費用が変わってきます。

1-1.動画の種類別費用相場

ここでは、動画の種類別に費用の相場を見ていきます。依頼する予定の動画がどのくらいかかるのか相場を確認する際に、参考にしてください。

1-1-1.サービス紹介動画

サービス紹介動画とは、自社の商品やサービスなどを動画にして分かりやすく紹介する動画です。**短時間で商品やサービスの魅力を伝える事ができる**のが、最大のメリットです。
サービス動画の使用用途の例と費用相場は以下の通りです。

種類	使用用途	費用相場	一般相場
サービス動画	展示会・営業・新商品発表・自社サイト	30万～100万	50万

1-1-2.会社紹介動画

会社紹介動画とは、会社理念や概要をはじめ、事業内容や社内の様子などを紹介する動画です。少し前までは、自社サイトやカタログで紹介する企業がほとんどでしたが、最近では動画を利用し会社の紹介をする企業が増えています。
会社紹介動画の使用用途と作成費用の相場は以下の通りです。

種類	使用用途	費用相場	一般相場
会社紹介動画	自社サイト・会社説明会・展示会・SNS広告	30万～200万	100万

1-1-3.社員紹介動画

社員紹介動画とは、会社で働いている先輩社員にインタビューをし、リアルな現場の声を届ける動画です。メリットは、動画を通じて**リアルな声を届ける**ことで、会社に対する具体的なイメージが湧きやすいという点です。
社員紹介動画の使用用途と作成費用の相場は以下の通りです。

種類	使用用途	費用相場	一般相場
社員紹介動画	社内紹介・採用活動・自社サイト・会社見学	50万～200万	100万

1-1-4.マニュアル動画

マニュアル動画とは、主に社員育成を行う際に活用される動画のことです。少し前までは、ほとんどのマニュアルが紙媒体で作られていましたが、最近では動画の方が伝わりやすいということで動画で社員研修を行う企業も増えています。
マニュアル動画は新入社員が理解しやすいだけでなく、紙媒体時に必要としていた諸経費や人件費の削減にもつながります。
マニュアル動画の使用用途と作成費用の相場は以下の通りです。

種類	使用用途	費用相場	一般相場
マニュアル動画	社員研修・業務引継・ノウハウの可視化	30万～80万	50万

1-1-5.採用動画

採用動画は、主に就職活動時に活用される動画です。企業によって動画内容は様々ですが、一般的には、会社理念やコンセプトの説明・製品やサービス紹介・社員インタビュー・企業からのメッセージなどが含まれた動画となっています。**採用動画は就活生にとって、会社のイメージが湧きやすい**というメリットがあります。

採用動画の使用用途と作成費用の相場は以下の通りです。

種類	使用用途	費用相場	一般相場
採用動画	採用活動	50万～200万	100万

1-1-6.Web広告用動画

Web広告用動画とは、動画として映像化されたWeb広告のことを指し、Web上に掲載されたバナーなどの静止画像とは異なります。動画広告は、見る方の視覚と聴覚に訴えかけることができるため、静止画より高い効果を得られます。

Web広告の使用用途と費用相場は以下の通りです。

[>>>動画広告のメリット](#)

種類	使用用途	費用相場	一般相場
Web広告用動画	Web上での広告掲載	50万～300万	100万

1-1-7.イベント告知動画

イベント告知動画とは、企業の商品やサービスを実際に体験してもらうイベントの集客を行う際に利用する告知動画です。イベント告知動画のターゲットは、開催を楽しみにしている方はもちろん、参加を迷っている方やイベント経験のない方、そしてイベントの存在を知らない方です。

使用用途や費用相場は以下の通りです。

種類	使用用途	費用相場	一般相場
イベント告知動画	イベント告知	30万～80万	50万

1-1-8.IR・広報動画

IRとはInvestor Relations(インベスター・リレーションズ)の略語で、企業が株主や投資家に向けて、経営や財務の状況、業績や今後の見通しなどを広報するために行う活動のことをいいます。動画を利用することにより、そのような活動をより分かりやすく伝える事ができます。IR・広報動画の使用用途と費用相場は以下の通りです。

種類	使用用途	費用相場	一般相場
IR・広報動画	株主総会・投資家へのPR活動・自社サイト掲載	30万～200万	100万

1-1-9.ブランディング動画

ブランディング動画とは、企業のサービスや商品、ブランドをよりたくさんの方に認知してもらうために作られる動画のことです。実態のない「ブランド」を言語化し、動画化することによって**ブランドを可視化**できる様になります。

ブランディング動画の使用用途と費用相場は以下の通りです。

種類	使用用途	費用相場	一般相場
ブランディング動画	広報活動・自社サイト掲載・会社説明	100万～300万	200万

1-2.動画の工程別費用相場

動画の工程別費用相場

依頼内容によって動画の制作費用は異なります。しかし、依頼内容に応じてどの程度費用が変動するかわからない人が多いと思います。そこでここでは、動画の制作工程を紹介しながら、各工程ごとの一般的な費用相場を紹介していきます。

1-2-1.問い合わせ・見積もり

まず最初のフェーズでは、どのような動画を制作するのか、自社ニーズをまとめた上で動画制作会社に問い合わせ・見積もりを取ります。多少手間がかかっても、複数社から見積もりを取り、比較するのが良いです。数社を比べることで、各社からの見積もりの妥当性を客観的に評価する事ができます。問い合わせ先としては、広告代理店、動画制作会社、フリーランスクリエイターなどが挙げられます。

1-2-2.企画・シナリオ制作

このフェーズでは、制作会社と依頼主のイメージを共有しながら、動画のターゲット・方向性などを決定し、制作の段取りを具体化していきます。動画制作の土台となる重要なフェーズです。この段階でターゲットや撮影方法はもちろん、機材調達やどのような映像表現を使うかまで決定します。撮影に入る前にすべての準備を整えておくため、このフェーズをプリプロダクションと呼びます。

	費用相場
企画構成費	5～30万円

プロデューサー・ディレクター	10~50万円
----------------	---------

1-2-3.撮影

このフェーズではプリプロダクションで決定した段取りに従い、実際の映像撮影を行います。カメラの台数やカメラマンの人数、キャスティング、ロケハンによって大きく費用が変わってきます。

	費用相場
カメラ・レンズ／1日	5~25万円
照明機器／1日	3~10万円
録音機器／1日	3~10万円
カメラマン／1日	5~10万円
ライトマン／1日	3~10万円
キャストマン／1日	10~20万円
エキストラ／1日	1~3万円
スタイリスト・ヘアメイク／1日	3~5万円
スタジオレンタル／1日	15~30万円
ロケ地レンタル／1日	10~25万円

1-2-4.編集

撮影を行い素材が準備できたら、編集して1本の動画に仕上げていきます。動画を含むすべての素材が準備できたら、編集して1本の動画作品に仕上げていきます。ナレーション・BGMなどのMA作業を含め、プロダクション以降の作業すべてがこのフェーズで行われます。

	費用相場
動画編集	5~25万円
カラーグレーディング	3~10万円
MA	3~10万円
ナレーション	3~5万円
BGM・SE	5~10万円

1-2-5.納品

現在、データでの納品が一般的です。一昔前であれば、完成した動画はオーサリングしてDVD、BDなどで納品ということもありましたが、イベントの記念として配布するのでない限り、データ納品が主流となっています。また、近年では制作だけでなく、その後の運用をサポートしてくれる制作会社が増えており、セットで依頼するケースも少なくありません。

1-3.動画の依頼先別費用相場

動画の依頼先別費用相場

依頼する会社によって、ビジネスモデルが異なるため各項目、トータルの費用相場は変動します。そこでここでは、広告代理店・動画制作会社・外部映像クリエイターと提携する動画制作会社・フリーランス映像クリエイターの費用相場を紹介します。

1-3-1.広告代理店

広告代理店は、大手企業がテレビCMを制作する時などによく使われます。しかし広告代理店の本業は「広告枠を販売する」であるため、動画制作の機能・リソースを社内に持たない場合がほとんどです。広告代理店はプロモーションに強い一方、動画制作自体は提携する制作会社にアウトソーシングするため、制作費用はもっとも高くなります。

1-3-2.動画制作会社

動画制作を本業とし、依頼された動画を社内クリエイターが自作で行う会社です。自社内製することで知識・経験・スキルが蓄積されるため、クオリティの高い動画を制作してもらえるという特徴があります。

[>>>おすすめの動画制作会社が知りたい方はこちらから](#)

1-3-3.外部映像クリエイターと提携する動画制作会社

外部映像クリエイターと提携する動画制作会社が近年増えてきています。社内に在籍するディレクターが中心になり、案件ごとにクリエイターネットワークを活用して、最適な動画制作チームを結成しています。固定費を減らしたビジネスモデルのため、動画制作会社よりも制作費を安価に抑えられます。一方、外部映像クリエイターは常駐ではないため、スキル・チームワーク面で不安を感じる方もいるかもしれません。

1-3-4.フリーランス映像クリエイター

フリーランスの映像クリエイターは動画制作をもっとも安価に依頼できます。特に、実績を積みたいクリエイターであれば、相場よりも低い費用で制作を請負ってくれるでしょう。ただし、スキルや責任感などをしっかり見極める必要があります。

2.動画の制作費用を抑えるためには？

動画制作会社に依頼する場合、ある程度費用が必要となります。

そこで、少しでも予算を抑えるために、自社でできることをご紹介します。

ちょっとした工夫をするだけで、お金だけでなく、納品までの時間を短縮できます。ぜひ、実践してみてください。

2-1.動画のコンセプトをあらかじめ定める

すべての工程を動画制作会社に任せてしまうと、それだけ費用がかかります。

動画を作る工程は「企画」「撮影」「編集」「運用」の4つに分けられますが、この4つのうちの自社でできることはないか考えてみてください。

2-2.まとめて発注をお願いする

複数の動画を発注を考えている場合は、まとめて発注することでコストを抑えることができます。

例えば、定期的に動画をアップすることを考えている場合は、数ヶ月先までの動画を一回の発注で行ってください。

3.動画制作会社を選ぶ際の4つのポイント

ここからは、動画制作会社を選ぶためのポイントを解説します。比較検討する際の参考にして下さい。

3-1.実績

過去に実績があるかどうかしっかり確認してください。

ある程度実績がある動画制作会社なら、制作された映像のクオリティに不満を感じることはないでしょう。ホームページで制作実績を公開している場合が多いため、依頼する前に確認してください。

3-2.費用

見積もり内容が曖昧な場合、当初の概算よりどんどん費用が追加され、予算をオーバーしてしまうことがあります。

必ず詳細に見積もりをしてもらい、その中に何が含まれていて、含まれていないものはあるのかしっかりと確認してください。

3-3.提案力

自社の要望を理解した上で、効果的な動画制作を提案してくれる会社を選びましょう。

提案力がない制作会社は、お客様から言われた通りに作るだけになってしまい、最終的に自分のイメージした作品にはならないことが多いです。そのため、実際に制作会社の担当者と顔合わせを行い、ご自身の目で本当に信頼できる会社かどうか判断してください。

3-4.進行管理

ディレクターは制作の窓口となり、責任をもって案件を全面的にサポートしてくれる存在です。また、動画制作は、企画、撮影、編集、確認、納品など、各プロセスが複雑に連携しています。1つが欠けても、期待通りの動画として完成しません。

そのため、ディレクターの裁量が制作物のクオリティに大きく関わります。

他社や個人に案件を丸投げすることなどが無いのか、必ず確認しましょう。

上記の**4つのポイント「実績」「費用」「提案力」「進行管理」**を参考に、実際に制作会社に見積もりを依頼し、比較検討をしてみてください。

[>>>おすすめの動画制作会社が知りたい方はこちらから](#)

4.まとめ

動画制作は作成したい動画の種類や工程により、費用相場に大きな差が出ることがわかっていただけでしょうか？制作したい動画をあらかじめ明確にしておくことで、大まかな相場を算出する事ができます。

もし、何か相談したい事がある方は、ぜひ一度弊社株式会社H&Kまでご相談ください！

<CTA>